

2022 年度 実績

■ 論文

- Sato M, Sakamoto S, Harada T, Ozawa H, Nakai M.
Floccillation: A Diagnostic Clue to Delirium
AIM Clinical Cases. 2023;2:e221075.
- Kana Okamoto, Taku Harada, Shintaro Kosaka, Satoshi Kutsuna.
Deprescribing antacids after the diagnosis of *Clostridioides difficile* infection: A single-center observational study.
J Infect Chemother. 2023 Feb;29(2):232-234.
- Harada T, Kosaka S, Nakai M. Non-Episodic Angioedema Associated with Eosinophilia after COVID-19.
Eur J Case Rep Intern Med. 2022 Dec 29;9(12):003671.
- Harada T, Nohara S, Sato M, Kokuno K, Nakai M. Two Cases of Acute Urinary Retention Associated With Acute Sarcopenia in Older Women.
Cureus. 2022 Sep 22;14(9):e29451.
- Harada T, Kosaka S, Hiroshige J, Watari T. Relationship Between the Use of Preprinted Physician Orders for Hospital-Acquired Fever and Time to Blood Culture Collection: A Single-Center Retrospective Cross-Sectional Study.
Int J Gen Med. 2022 Jul 2;15:5929-5935.

■執筆

- 島田 侑祐, 小坂 鎮太郎.【“思春期内科”-大人でも子どもでもない患者を診る】
[Chapter 2]思春期に発症しうる疾患 伝染性単核球症のゲシュタルト(解説)
掲載誌. 内科 131 巻 3 号 (2023.03)
- 小澤 秀浩. 病棟医療革命 ホスピタリストのための telemedicine(第 5 回) 練馬光が
丘病院編 30 seconds to future XR のトレンドを知って未来に備える(解説).
Hospitalist(2188-0409)10 巻 3 号 (2023.02)
- 原田 拓.【慢性疾患診療のお悩みポイントまとめました-高血圧からヘルスマネジメント
まで】骨粗鬆症 骨粗鬆症の治療は超高齢者でも導入すべきですか? 薬の使い分け
はありますか? .Medicina 60 巻 2 号 (2023.02)
- 山里 一志【慢性疾患診療のお悩みポイントまとめました-高血圧からヘルスマネジメン
スまで】糖尿病 糖尿病の血管障害ってどう診断,フォローすればいいですか?
Medicina(0025-7699)60 巻 2 号 (2023.02)
- 小澤 秀浩, 小坂 鎮太郎【慢性疾患診療のお悩みポイントまとめました-高血圧から
ヘルスマネジメントまで】総論 慢性疾患に対する患者のモチベーションを上げるには
どうすればいいですか? Medicina 60 巻 2 号 (2023.02)
- 田丸 聡子, 小坂 鎮太郎.【教科書やガイドラインに載ってない!悩ましい感染症治療
薬の使い方】(第 2 章)臓器感染症への感染症治療薬の使い方 胆道感染症(解説).
薬事 65 巻 3 号 (2023.02)
- 島田 侑祐, 小坂 鎮太郎.【教科書やガイドラインに載ってない!悩ましい感染症治療
薬の使い方】(第 2 章)臓器感染症への感染症治療薬の使い方 尿路感染症,性器感
染症. 薬事 65 巻 3 号 (2023.02)
- 中西 俊就, 小坂 鎮太郎.【教科書やガイドラインに載ってない!悩ましい感染症治療
薬の使い方】(第 1 章)抗菌薬の使い方の基本 抗菌薬の静注から経口へのスイッチ,
外来での静注抗菌薬治療. 薬事 65 巻 3 号 (2023.02)

- 小坂 鎮太郎【多職種連携】ICU 退室後の多職種連携 ICU から一般病棟,さらに地域連携へ 患者の旅路を支援するケアシステムの実現のために必要なこと.
Intensivist 14 巻 4 号 (2022.10)
- 原田 拓 日常診療に潜む「処方カスケード」-その症状、薬のせいではないですか?
GERD、胸焼け 内視鏡検査の前にチェックしておくべき薬(解説).
総合診療 32 巻 10 号 (2022.10)
- 小澤 秀浩, 山崎 聡【これからもスタンダード!-Quality Indicator の診療への実装-生活習慣病を中心に】生活習慣に影響・関連するエトセトラ ころと生活習慣病.
Medicina 59 巻 11 号 (2022.10)
- 平良 宏樹 小坂 鎮太郎【これからもスタンダード!-Quality Indicator の診療への実装-生活習慣病を中心に】生活習慣に関する疾患の診療評価指標とその実装 糖尿病
糖尿病診療における一般的な診療評価指標 Medicina 59 巻 11 号 (2022.10)
- 小坂 鎮太郎【これからもスタンダード!-Quality Indicator の診療への実装-生活習慣病を中心に】医療の質,診療評価指標という概念の理解 診療評価指標(Quality Indicator)って役に立つ? どう使う? Medicina 59 巻 11 号 (2022.10)
- 小坂 鎮太郎, 青木 拓也, 栗原 健, 香坂 俊, 綿貫 聡, 和足 孝之【これからもスタンダード!-Quality Indicator の診療への実装-生活習慣病を中心に】生活習慣病における診療評価指標の現状と策定の課題. Medicina 59 巻 11 号 (2022.10)
- 島田 侑祐, 小坂 鎮太郎【日常診療に潜む臨床検査のピットフォールを回避せよ】免疫学的検査 (Case 16.)IgG4 が上がっていれば,IgG4 関連疾患でしょ!!.
Medicina 59 巻 8 号 (2022.07)
- 原田 拓【日常診療に潜む臨床検査のピットフォールを回避せよ】血液・凝固・線溶系検査 (Case 5.)D-ダイマー正常の大動脈解離? Medicina 59 巻 8 号 (2022.07)
- 原田 拓【めまい診療根拠をもって対応できる!“何となく”を解消!救急でよく出合う疾患の診断ポイントと原因を意識した処置、フォロー・再発予防】起立性低血圧 Medicina 59 巻 8 号 (2022.07). レジデントノート 24 巻 7 号 (2022.08)
- 松本 朋弘. 呼吸不全患者における抜管後の摂食嚥下障害.
人工呼吸 39 巻 1 号 (2022.05)

- 中西 俊就, 小坂 鎮太郎.【「診断エラー」を科学する!-セッティング別 陥りやすい疾患・状況】セッティング 入院診療 院内発症静脈血栓塞栓症.
総合診療 32 巻 5 号 (2022.05)
- 小坂 鎮太郎【リンパ節腫大の診療-明日からの診療に役立つリンパ節腫大の知識】
明日からの診療に役立つリンパ節腫大の知識 リンパ節腫大の鑑別診断 リンパ節生
検適応の判断. Medical Practice 39 巻 4 号 (2022.04)
- 小坂 鎮太郎. リハ栄養ケアプロセス あなたの出番 急性期医療におけるリハ栄養ケ
アプロセスの活用と有効性. リハビリテーション栄養. 栄養 6 (1) (2022.04)

■書籍

- 西崎 祐史, 鋪野 紀好, 上原 由紀,他.
『外来で武器になる 総合診療のエビデンスをぎゅうっとまとめました』
メジカルビュー社 (2023.03) (編集で参加)